課題 6

桂田祐史

2001年7月11日

1 何をすれば良いか?

課題 6-x (x=1,2,3,4) を解くには C 言語のプログラムを作って実験する必要がある。そのために一からプログラムを書いても良いが、公開してある bisection.c, newton.c を参考にすると良い。

そのためには、例えば、

のようにコピー kadai6-1b.c, kadai6-1n.c を作り (もちろんファイル名は自分の好きなように選べば良い)、それを mule で修正すれば良い。

waltz21% mule kadai6-1b.c &

コンパイル、実行は bisection.c, newton.c と同様である。

```
waltz21% cc -o kadai6-1b kadai6-1b.c -lm
waltz21% ./kadai6-1b
```

2 どのようにプログラムを修正するか?

最も簡単な課題 6-1 の場合で説明する。

- (1) (授業で説明したように) bisection.c は main(), f() という二つの関数からなるが、このうち f() を変えれば解く方程式を変えられる。 (main() も対応して小修正が必要かもしれないが...)。
- (2) (これまた授業で説明したように) newton.c は main(), f(), dfdx() という三つの関数からなる。このうち f(), dfdx() を変えれば解く方程式を変えられる (dfdx() は f の導関数 f' を計算する C の関数)。

- 3 課題 6-2 向けコメント
- (1) \sqrt{a} は方程式 $x^2 a = 0$ の解として求める。
- (2) $\sqrt[3]{a}$ は方程式 $x^3 a = 0$ あるいは $x^2 a/x = 0$ の解として求める。
- (3) \sqrt{a} はライブラリィ関数を用いると sqrt(a) として計算できる。
- (4) $\sqrt[3]{a}$ はライブラリィ関数を用いると pow(a, 1.0/3.0) として計算できる。
- (5) sqrt(), pow() のような数学関数を使うには、
 - (a) プログラムの先頭部分で #include <math.h> として数学関数の宣言を読み込み
 - (b) コンパイル時に数学関数ライブラリィをリンクするように -lm を指定する必要がある。
- (6) sqrt(), pow() の仕様が知りたければ、オンライン・マニュアルで調べられる。

waltz21% man sqrt

あるいは

waltz21% xman &

そこから section 3m を選ぶ。

4 課題 6-3 向けコメント

- (1) $\arcsin a$ は方程式 $\sin x a = 0$ の解として求める (他も同様である)。
- (2) $\arcsin a$ はライブラリィ関数を用いると asin(a) として計算できる (他も同様である)。
- (3) 方程式 $\sin x a = 0$ は無限個の解を持つことに注意する (他も同様である)。
- (4) asin(), acos(), atan() のような数学関数の使い方、仕様の調べ方は、 sqrt(), pow() と 同様である。
- 5 課題 6-4 向けコメント
- (1) これは連立方程式 (多次元の方程式) なので、課題 6-x (x=1,2,3) とは毛色が違い、プログラムは「書き直し」よりは、一から書いた方が早いかもしれない。
- (2) Mathematica を使った方が簡単かな...

あるいは、変数の方もベクトル的にリストを使って書いて、